

<日本語意識版>

アディダス、ウィルソン・キプサング選手の東京での勝利を受け、 Sub2実現に向けた、飛躍的な進歩を達成

- アディダス契約のウィルソン・キプサングが新シューズ「adizero Sub2」を着用して優勝
 - 日本国内初の2時間3分台、別格の走りでマラソンファンを魅了
- 長距離走における新境地を開くアスリートのために作られた、先駆的な「adizero Sub2」
- adizeroを含め過去4度にわたって世界記録に貢献、マラソン界で確かな実績を築くアディダス



2017年2月26日、独・ヘルツォーゲンアウラッハ： アディダスの契約アスリートであるウィルソン・キプサングは、2時間の壁を打ち破ろうとするアスリートのために作られた、アディダスの最新ランニングシューズ、「adidas adizero Sub2 (アディダス アディゼロ サブツー)」を着用し、東京で勝利を収めました。

長年にわたる幅広い研究とテストが実を結ぶこととなった「adizero Sub2」は、最先端をいくアディダスのイノベーションを最高のかたちで導入するものです。2時間の壁を打破するアスリートを念頭にデザインされた新製品の開発にあたって、弊社 Innovation Technologies 部門は、様々な温度や環境はもとより、異なる地表において最新素材の性能を調査してきました。その上で、最も優れた試作品がウィルソン・キプサングを含む一流アスリートたちとの厳しいテストや共同開発の対象とされてきたのです。東京のレースのスタートとゴールラインにインスパイアされたエナジー・ブルーの限定カラーを含め、現時点で世界に存在するたった一足のための「adizero Sub2」シューズを所有するのが、このケニア出身のマラソンランナーとなります。



アディダス・ランニングのグローバル・ゼネラルマネージャー、André Maestrini は次のようにコメントしています。「ウィルソンの東京における素晴らしい功績はアディダスにとって大変誇らしいことです。adizero Sub2 は、アディダス史上最高の長距離走向けのシューズであり、ウィルソンがそれを着用して勝利を収めたことは画期的なマイルストーンとなりました。まさしく Sub2 プログラムの第一歩であり、私たちは今後の進捗を見極めていくことにワクワクしています。」

このシューズは、アディダスの誇るランニング・テクノロジーの最も優れた部分をきわめて高速かつ軽量なかたちで提供するとともに、アディダスの新たなイノベーションである BOOST Light がデビューを飾る商品となります。レース本番での一流アスリートによる着用を想定して特別設計された BOOST Light は、adidas 史上最軽量とされるミッドソール素材を搭載し、これまで世界記録を打ち立ててきたアディダスの契約アスリートたちのパワー源となる反発性を約束します。軽量ファブリックの単層構造となるシューズのアップー部分には、より軽くなったメッシュ素材と内部補強材に加えて、スピードランナーに適したサポート、快適性、フィット感を生み出すべく、さらなる進化を遂げたマイクロフィットにフィーチャー。ストレッチウェブアウトソールの進化型となるコンチネンタル マイクロウェブ アウトソールは、レース条件にかかわらず、ハイレベルのグリップを提供し、ごく僅かなスリップによるエネルギーの無駄な消費さえも確実に食い止めてくれます。より速いタイムで記録を破るというテーマに基づいて作られたシューズです。

「adidas adizero Sub2」は、年内にも一般販売を予定しております。今後詳細については、[Instagram](#)、[Twitter](#)、及び [Facebook](#) 等の SNS で『adidas Running』をフォローしてご確認ください。

グローバル担当者連絡先:

Laura Baum

Global PR Manager - Running

Laura.Baum@adidas.com

Tel: +49 (0)9132 8475508